



さくらたより

令和7年度 学校だより
NO. 1
令和7年4月7日発行
山形市立桜田小学校

「未来をひらく英知と力のある子供」を

令和7年度がスタートしました。今年度も、子供に寄り添いながら、学校づくりを進めてまいります。よろしくお願ひいたします。



将来、自立していく子供を支えたい

「学校の教育は何のために…」を考えた時に、真っ先に思い浮かぶのは、将来、社会で一人で生きていくために必要な力を身につけるため…と言えます。では、どんな力を身につけたらいいのでしょうか？

様々考えはあると思いますが、①生きていくために必要な知識と②コミュニケーション力の2つは外せません。特に②は AI では対応できない力で、学校という集団でしか学べないことです。

コミュニケーションを大切にしたい学びを大切に、保護者、地域の皆様とともに桜田小学校を創っていきたく考えています。

〔お願い〕

- ① 4月より **登校時刻は【8:10 まで】**となります。その時刻まで、遅れずに登校できるようにご協力ください。
* **登校が遅れる・欠席の場合は、必ず【出欠のメール】にてお知らせください。**
- ② お家は、お子さんが、がんばって疲れた時/うまくいかず元気がなくなった時に、エネルギーを回復し、元気を取り戻す所です。学校でも、子供の姿を見守っていきます。ご家庭でも、子供の元気な様子を見守っていただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

さて、今年度は、以下の学校教育目標、めざす子供像・学校像・教師像を掲げ、質の高い楽しさと声の響きを追い求めながら教育活動を展開してまいります。

学校教育目標 『 未来をひらく、英知と力のある子供の育成 ~かかわりを通して~ 』

自分から

自ら考え、主体的に学ぶ子供

教え合う力・学び合う力

- 情報収集・活用能力【探究】
- 自律的行動・実践能力【体験】
- 協働・対話能力【協働】

- 1 「個別最適な学び」の充実
⇒ 学びの多様化への対応
- 2 「協働的な学び」の充実
⇒ 学びの広がり・深まりへの対応

心を重ね

心豊かで仲間とつながる子供

かかわり合う力・認め合う力

- コミュニケーション能力【尊重】
- プレゼンテーション能力【協働】
- 持続可能な社会の創造能力【協働】

- 1 共感的な人間関係の育成
⇒ ソーシャルスキルの育成
- 2 社会(集団)をつくる子供の育成
⇒ 創造的な活動の充実・実践

最後まで

最後まで、粘り強く挑戦する子供

励まし合う力・やり遂げる力

- 行動・挑戦力【体験・探究】
- 実践・継続能力【体験】

- 1 「いのち」の教育の推進
⇒ 道徳教育・健康教育・安全教育の充実
- 2 運動・遊びの日常化
⇒ 安心安全に活動できる場の整備

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も桜田小学校へのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

よろしくお願ひします～新任式～

新たな先生方をお迎えする「新任式」を行いました。6年生の代表児童が、全員が仲良く過ごしていること、縦割り活動を頑張っていること、「あいさつ」のことなど、桜田小の魅力を紹介しました。皆さん、よろしくお願ひします。

新任式 児童代表歓迎の言葉（抜粋）

桜田小の魅力は、明るく男女関係なく仲よして、たくさん遊ぶところです。また、たてわり班でそうじや遊びなど、全学年が仲良く活動しているところです。

他にも、元気にあいさつをしたり、より良い学校になるように活動に取り組んだりしています。

これから先生方には、たくさんの事をこと教えていただき、より良い桜田小にしていきたくと思います。

今日からどうぞよろしくお願ひします。



1 学期のスタート～始業式～

引き続き、1学期の始業式です。そこでは、①【「自分から」挑戦】②【仲間と「心を重ね」かかわる】、

③【「最後まで」やり通す】の3つを大切にしてほしいと話しました。

学校は、小さな社会：多くの人が生活するところです。自分も含め、みんなが気持ちよく過ごすためには、上記の3つを意識していこうと伝えました。

そして6年生の代表児童の決意発表。最高学に向かう思いが伝わってきました。発表を聞いていた子も、自分の目標を新たにしましたことでしょう。



始業式 児童代表の言葉（抜粋）

今年最高学年の6年生になります。これまでは引っ張ってもらった側でしたが、これからは私たち6年生が引っ張っていく番です。そこで、特に意識したいことが2つあります。

1つ目は、様々なことにチャレンジすることです。5年生では、委員会の議長や進行の仕事は難しいと思い、やりませんでした。でも、やれば良かったと後悔することがあったので、これからは積極的にチャレンジしていきたいです。

2つ目は、「自分で考えて行動すること」です。苦手な勉強では、すぐに先生や友達に聞いてしまします。問題文を繰り返し読んだり、ヒントをもらったりして、自力で答えを出せるようになりたいです。

1～5年生のお手本の存在として、この2つを意識して日々の学校生活を送りたいです。そして小学校最後の1年を楽しくすごしたいです。